

スクラム

～立志・挑戦・感動～

浮羽中学校学校通信

第2号(4月15日発行)

文責 校長 高倉 満

○学校では、毎年の教育活動をふり返るとともに、子どもの実態に照らしてどんな生徒を育てていくかを決めています。浮羽中は昨年度、学校教育目標を変えました。

教育目標は「自ら気づき、判断し、行動できる生徒の育成」です。自分を高めていく第一歩が「気づき」だと思います。友達や周りの人の優しさや、温かさに気づく感性、しっかりと考え何をすべきかを自分で判断する力、そして行動していく実践力をもつ生徒を育てたいと考えています。合言葉は「立志・挑戦・感動」と決めました。

大きな志、具体的な目標を持ち、行事や進路、部活動など、多くの事に挑戦をして、仲間とやり遂げた達成感を共有してほしいと思っています。学校・保護者・地域の方と同じ目標に向けて進んでいける、そんな浮羽中にしたいと思います。どうぞ、ご家庭におかれましても本校教育目標に向けて応援していただけたらと思います。また本年度は学力向上に向けた合言葉も決めました。「継続・徹底」です。

◇本校の教育目標◇

合言葉「立志・挑戦・感動」

自ら気づき、判断し、行動できる生徒の育成

■めざす学校像

- 夢と志を育て、生徒が自己の目標に向かって伸びやかに成長する学校
- 挨拶が飛び交い、生徒が生き生きと活動できる安全・安心な学校
- 地域の期待に応え、地域に信頼される学校

■めざす生徒像 (重点目標)「自ら課題を設定し仲間と共に解決できる生徒」

- 高い志を持ち、意欲的に学び自分の思いや考えを表現することができる生徒の育成
- 自分らしい生き方の実現をめざす力や人とつながる豊かな人権感覚をもった生徒の育成
- 心身を鍛え健康で、何事にも粘り強く取り組むことができる生徒の育成

■めざす授業像

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の実践
- 「分かる授業」の実践、ICTの活用や個に応じた授業の実践
- 学びを深める「協働学習」「交流活動」「ペア活動」の工夫改善
- 授業内容の定着を図る「めあて」と「活動」と「まとめ」がにつながる授業の重視
- 「書くこと」を重視し思考力、判断力、表現力を育む授業実践
- 生徒による授業評価の実施、結果の分析による授業改善の実践

■めざす教師像

- 愛情と厳しさをもち、生徒・保護者から信頼される教師
- 研究と修養に努め、広い視野をもった教師
- 生徒理解のもとに、教育的実践意欲に満ち、組織体で行動できる教師
- 健康で明るく、常に自己変革を図ろうとする教師



◇入学式が終わり、107名の新入生を迎えました。浮羽中生徒329名と職員35名で力を合わせて頑張っていきます。保護者、地域の方の御協力、ご支援をよろしくお願い致します。